

第161期

株主の皆様へ

平成25年4月1日～平成26年3月31日

証券コード 5406

KOBELCO

お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 **神戸製鋼所**

「経営基盤の再構築」と、「収益の『安定』と事業の『成長』に向けた布石」を打つことにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。



代表取締役社長

川崎博也

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、前期まで2期連続最終赤字を計上し、株主の皆様には大変ご心配とご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでしたが、全社一丸となって収益改善に取り組んだ結果、当社グループの当期の業績は、3期ぶりの黒字を確保し、1株につき4円の期末配当を行なうことができました。この間の株主の皆様のご支援に感謝申し上げます。

さて、当期は黒字化を達成したとはいえ、当社を取り巻く環境は、国内は改善しているものの、海外情勢は不透明な状況にあります。このような状況下でも確実に収益を上げるべく、当社グループは、昨年策定した三ヵ年のグループ中期経営計画で掲げた生き残りのための「経営基盤の再構

築」と、勝ち残りのための「収益の『安定』と事業の『成長』に向けた布石」を打つことに引き続き全力で取り組んでまいりる所存です。

現在のところ「経営基盤の再構築」の大きな課題である、「鉄鋼事業の収益力強化」については、加古川製鉄所の新溶銑予備処理設備が本年4月に稼動を開始するなど順調に進捗しております。その他の戦略投資や収益改善策に引き続き取り組み、その効果を着実に取り込んでまいります。

また、成長分野・地域での最大販売量確保にも取り組んでおり、昨年秋に、自動車軽量化の需要のある中国において、自動車ハイテン鋼板の製造・販売に関する合弁事業契約を締結するほか、自動車パネル用アルミ板材製造・販売会社を設立しました。今後も、グローバル市場での成長分野の需要の取り込み施策を進めてまいります。

グループ中期経営計画で掲げたもう一つの施策である「収益の『安定』と事業の『成長』に向けた布石」としては、製鉄事業の上工程の加古川製鉄所への集約と最新鋭設備の設置などによりコスト競争力の強化を図る抜本的な「鋼材事業の構造改革」に着手しております。

また、当社グループの売上高の4割を占める圧縮機・建設機械など機械系事業のグローバル市場での戦略的な拡大にも取り組んでおります。

さらに、将来の安定収益基盤として、電力供給事業の拡大を掲げ、栃木県真岡市でのガス火力発電所建設や神戸製鉄所上工程設備跡地での石炭火力発電所建設に向けて取組みを開始いたしました。

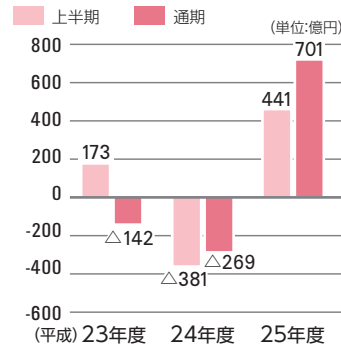
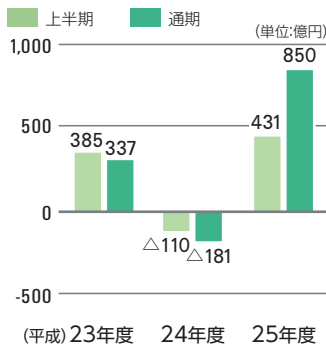
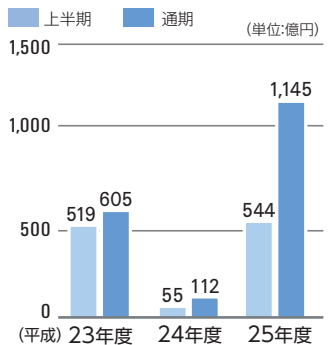
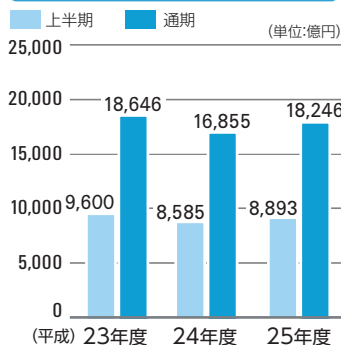
なお、このうち、「鉄鋼事業の収益力強化」や中国での製造・販売拠点設立、「鋼材事業の構造改革」を着実に進めるために、本年2月、公募増資を実施いたしました。

当社グループは、これらの施策を着実に実行するとともに、安全管理の徹底、コンプライアンスの遵守を図ることで、持続的な企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

平成26年6月

※中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



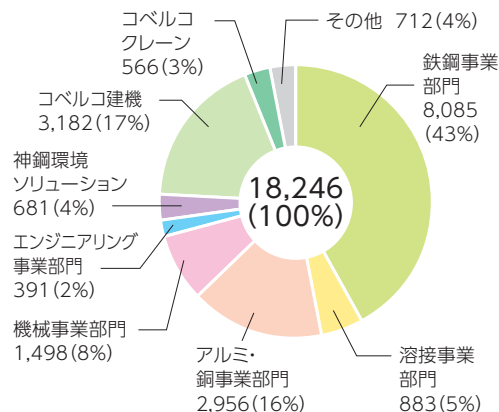
■当期の概況

当期のわが国経済は、金融政策や財政政策などの政府の経済対策を背景に、昨年までの円高が是正されたことにより輸出産業が持ち直しに向かい、加えて震災からの復興に伴う需要を含め公共投資が増加するなど、回復基調が継続しました。また、海外においては、米国では緩やかに景気回復基調が継続しましたが、欧州の景気は低調に推移しました。中国では経済成長を維持しているものの、総じて景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことや、円高の是正の影響などにより輸出環境に改善がみられる中、着実に海外需要を取り込んだことなどから、前期を上回りました。アルミ圧延品の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことなどから、前期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、自動車用端子向けの需要が堅調に推移したことや、半導体向けの需要も回復基調が継続したことなどから、前期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、国内においては、震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増加したことや、海外においては、東南アジアでは需要が低調に推移したものの、中国では景気の底打ち感がみられたことや、北米および欧州における拡販が順調に進捗していることから、前期を上回りました。

この結果、当期の売上高は、前期に比べ1,391億円増収の1兆8,246億円となりました。また、総コストの削減の進展、在庫評価影響の好転や固定資産の減価償却方法の変更影響もあり、営業利益は、前期に比べ1,033億円増益の1,145億円、経常損益は、前期に比べ1,031億円増益の850億円の利益となりました。当期純損益は、前期に比べ971億円増益の701億円の利益となりました。

事業別売上高(平成25年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額710億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額1兆8,246億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

8,085 億円

(前年同期比 +8.8%)



- 鋼材販売数量：自動車向け需要が国内外で堅調に推移、輸出環境の改善もあり前年同期比増
- 鋼材販売価格：主原料価格の上昇を背景に価格改定に努めた結果、前年同期比上昇
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要低調、価格下落により前年同期比減
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常損益：総コスト削減進展、在庫評価影響好転、減価償却方法変更影響により前年比838億円増益の335億円の利益



高張力鋼板(ハイテン)



溶接事業部門

883 億円

(前年同期比 +7.5%)



- 溶接材料販売数量：国内の自動車、建築向け需要堅調、下半期は国内の造船向け需要も回復基調も、中国における景気減速継続の影響により前期並
- 溶接システム売上高：中国を中心に建機向け需要低迷も国内向け需要増加により、前期比増
- 経常利益：総コストの削減の進展により前期比50億円増益の72億円



REGARCTM搭載
省スペース型鉄骨コア・仕口兼用
溶接システム



アルミ・銅事業部門

2,956 億円

(前年同期比 +12.8%)



- アルミ圧延品販売数量：自動車向けの需要堅調により、前期比増
- アルミ鑄鍛造品売上高：自動車向けの需要が米国を中心に堅調に推移し、前期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車用端子向け板条需要堅調、半導体向け板条需要回復基調、国内外エアコン向け銅管需要堅調により、前期比増
- 経常利益：総コスト削減進展、在庫評価影響好転により前期比112億円増益の151億円



自動車サスペンション用
アルミ鍛造部品



機械事業部門

1,498 億円
(前年同期比 △10.4%)



- 受注高：海外を中心に石油精製・石油化学業界向け圧縮機の需要堅調により、前期比39.6%増の1,528億円
- 当期末受注残高：1,222億円
- 経常利益：大型案件の売上計上が集中した前期比55億円減益の64億円



非汎用圧縮機



エンジニアリング事業部門

391 億円
(前年同期比 △15.9%)



- 受注高：北米およびロシア向け大型還元鉄プラント受注などから、前期比48.3%増の498億円
- 当期末受注残高：833億円
- 経常損益：前期比26億円悪化し、39億円の損失



ロシアのMIDREX®プラント



神鋼環境ソリューション

681 億円
(前年同期比 △6.2%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業の大型案件受注も、案件規模の差により2.3%減の718億円
- 当期末受注残高：472億円
- 経常利益：前期比13億円減益の26億円



西秋川衛生組合向けごみ処理施設



コベルコ建機

3,182 億円
(前年同期比 +18.8%)



- 油圧ショベル販売台数：前期比増
〔国内〕震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増
〔海外〕東南アジアの需要低調も、中国で底打感、北米・欧州拡販順調に進捗し増
- 経常利益：前期比82億円増益の151億円



20トン級油圧ショベル
[SK200]

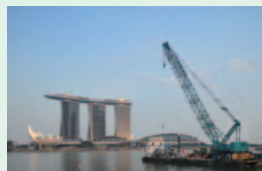


コベルコクレーン

566 億円
(前年同期比 +24.5%)



- 販売台数：前期比増
〔国内〕公共投資増、震災復興需要により増
〔海外〕東南アジア向け増により増
- 経常損益：円高の是正による輸出採算改善により前期比54億円増益の32億円の利益



クローラークレーン
[7250S]



その他

712 億円
(前年同期比 △2.8%)



- 神鋼不動産：
〔分譲事業〕引渡戸数が減少
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕需要堅調に推移
〔液晶配線膜用ターゲット事業材〕需要が低迷
- その他の事業全体の経常利益：前期比7億円減益の68億円



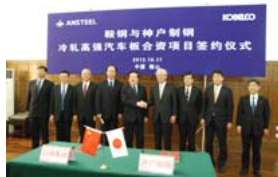
ジューレフ
垂水高丸

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ● 機械事業部門 ● 本社

鉄鋼事業部門

鞍鋼股份有限公司と中国における自動車用冷延ハイテン製造合弁会社に関する合弁契約締結

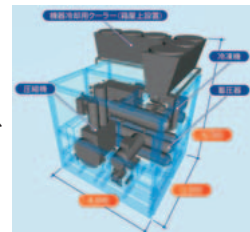


鞍鋼股份有限公司との調印式

機械事業部門

水素ステーション普及に向けたパッケージ型水素ステーションユニットの開発・販売開始

従来、水素ステーションは高圧水素圧縮機や冷却設備など主要機器を個別に設置するため、設置面積が大きくなる課題があり、普及には更なる省スペース化、仕様標準化による低コスト化が必要とされていました。そこで、当社は、実証水素ステーション向け納入・運用実績や機器選定ノウハウ、汎用圧縮機事業で培ったコンパクト設計の技術を融合させることで主要機器の一部の集約を実現し、従来比約20%の建設費コストダウンと従来比50%（当社比）の設置面積削減が可能となるパッケージ型水素ステーションユニット[HyAC mini]を開発し、販売を開始しました。当社グループでは、水素ステーション用主要機器だけでなく、超高压部材用素材の製造、燃料電池車に充填するための最適機器仕様選定シミュレーション技術の開発も行っており、水素ステーション普及に向けハード・ソフトの両面でサポートすることが可能です。当社グループでは、こうした製品・技術を活かし、水素ステーションなどの普及・整備に貢献してまいります。



HyAC mini(イメージ図)

2013

(平成25年)

10月

11月

12月

2014

(平成26年)

1月

2月

3月

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所 厚板加速冷却設備の改造を決定

新興国を中心とした世界的なエネルギー需要の増大、北米でのシェールガス革命などにより、石油やガスを生産・輸送する海洋構造物やパイプラインの市場は継続的に拡大していくと予想されています。海洋構造物やパイプラインでは、圧延後に高速で均一に冷却することで、強度と粘り強さ、良好な溶接性を備えた厚板が必要とされ、より高機能な製品を製造するには、加速冷却装置が欠かせません。こうした状況から、当社は、より高機能の厚板生産を可能とするよう、厚板加速冷却設備を改造することを決定いたしました。工事期間は2014年7月～2015年3月までの予定です。今回の改造により、一層のエネルギー分野での拡販が可能となります。今後、造船・建材分野と並ぶ厚板事業の3本目の柱としてエネルギー分野での拡販に注力してまいります。



現状の厚板加速冷却設備

本社

真岡市での発電事業に関して、東京ガスと基本合意

当社グループでは、安定収益基盤として、これまで電力卸供給事業などで培ったノウハウを活かした「電力供給事業の拡大」を掲げています。その一環として、現在、栃木県真岡市において高効率のガス火力発電所の建設を目指し、2013年3月から環境アセスメントの手続きを開始していますが、このたび、この発電所で発電した電力全量を東京ガス株式会社に販売することで基本合意に達しました。電力売買契約に向けて、両社で協議を進め、2014年9月末までに契約を締結する予定です。計画では、当社のアルミ板製造拠点である真岡製造所に隣接する真岡第5工業団地内に、合計120万kW（発電機2基）の高効率ガス火力発電所を建設する予定で、早ければ2016年半ばにも着工、1号機は2019年後半、2号機は2020年前半の稼働を目指しています。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.jp>

当社は株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**真岡製造所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



開催場所：真岡製造所(栃木県真岡市鬼怒ヶ丘15)
対象者：平成26年3月31日現在、当社株式1,000株以上を
 所有の株主様
募集人数：240名(各回60名)

※募集人数には同伴者様も含まれます。

株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時 (平成26年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	真岡製造所	11月9日	8:50	13:20頃	JR宇都宮駅付近※
②			12:25	17:00頃	
③		11月10日	8:50	13:20頃	
④			12:25	17:00頃	

※JR宇都宮駅までの所要時間:JR東京駅から東北新幹線で約50分。
 ※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。
 ※株主様見学会コースは徒歩での移動となります。途中何ヶ所か階段がございます。
 ※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。
 抽選の結果は9月上旬にご通知する予定です。
 ※同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。
 ※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合

応募方法：同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。
 (対象者の方にのみ、はがきを同封しております。)

【締切日:平成26年7月25日(金)到着有効】

参加費：無料
 ※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

お問い合わせ先：株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係
 TEL 078-261-4067
 受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

〈これまでの開催実績(過去5回分)〉

	日 時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第9回	平成24年 3月	加古川製鉄所	360人	2,825通
第10回	平成24年 10月	真岡製造所	240人	1,082通
第11回	平成25年 2・3月	神戸総合技術研究所・ 神戸製鉄所	285人	3,202通
第12回	平成25年 11月	高砂製作所	320人	2,039通
第13回	平成26年 3月	加古川製鉄所・ コベルコ建機広島事業所	450人	2,306通

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■国際水素・燃料電池展 (FC EXPO) に出展

神戸製鋼グループは、昨年度に引き続き、「国際水素・燃料電池展 (FC EXPO)」に出展しました。

この展示会は、水素・燃料電池に関する幅広い分野の企業が一堂に会する展示会です。今回は、神戸製鋼 (技術開発本部、機械事業部門)、神鋼エンジニアリング&メンテナンスが参加しました。

神戸製鋼グループの水素社会への取組みとして、高圧水素圧縮機や高圧熱交換器、エンジニアリングといった水素ステーション関連を中心に、水素製造・精製装置や試験装置などを幅広く紹介しました。今回の出展は日本経済新聞や多くの業界紙に取り上げられ、前回にも増して神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことが出来ました。



■「省エネルギーセンター会長賞」を西条工場が受賞

西条工場は、財団法人省エネルギーセンターが主催する平成25年度省エネ大賞の省エネ事例部門において、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

西条工場では、省エネ活動の一環として、生産工程に欠かせないボイラー設備に着目し、無駄な燃焼排除やエネルギーロスの防止といった地道な省エネ活動を進めてきました。その結果、省エネ化とCO₂排出量削減という大きな成果を達成したことが評価され、今回の受賞となりました。



表彰式の様子

■「第1回 KOBELCO 森の童話大賞」表彰式の開催

「第1回 KOBELCO 森の童話大賞」には21都道府県から合計347件の作品が寄せられ、各賞12名が選ばれました。1月26日には灘浜サイエンススクエアにて表彰式を行ないました。金賞2作品は絵本となり、兵庫県および神戸市において贈呈式が行なわれました。

金賞2作品の絵本約1,700セットを兵庫県内の全小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館などに寄贈いたしました。金賞受賞者在住の宝塚市では学校図書館司書が児童に読み聞かせを行なうなど、教育現場で活用されています。



金賞受賞者



絵本

社会貢献への取組み

■社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、子供たちを対象に遊具や絵本などのほか、様々な活動費や備品購入費などを支援しています。2012年度以降は徐々にグループ会社も加わり、2013年度の対象エリアは、神戸製鋼グループの事業所・研究所が立地する17市1町に拡がりました。

また、当社が支援を行なっているNPO法人「SCIX」が考案した球技「スペースボール」を近隣の小学生に体験していただく際のお手伝いをしています。「スペースボール」は、子供たちの身体能力の向上やチームプレーの習得に適しており、社会科見学の一つとして活用いただいています。

神戸製鋼グループは、今後も、こうした活動を継続し、社会との共生を図ってまいります。



寄贈した三輪車で遊ぶ子供たち



スペースボールを楽しむ子供たち

ラグビーを通じての活動

■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティールーズは毎年、ラグビースクールでの指導や、初めてラグビーを体験する幼稚園児や小学生向けのラグビー教室、また各地で行なわれているお祭りなど年間で30以上のイベントに参加しています。

ラグビー指導では、選手たちは、初めてラグビーを体験する子供たちに、ラグビーの楽しさや規律を伝えるにはどうしたらいいのかを考えながら取り組んでいます。

お祭りでは、加古川製鉄所などの当社事業所で行なわれているお祭りには選手が、兵庫区民まつりや灘区の桜まつりなどにはチームマスコットであるコーロクンが参加し、多くのお客様からお声をかけていただいています。

今後もラグビー指導やイベントを積極的に行ない、ラグビーの普及を通じ、より一層地域社会への貢献を果たすことができるよう努力していきます。



ラグビー教室の様子



チームマスコットのコーロクン

事業分野

(平成26年3月31日現在)

鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鑄鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鑄鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダー

コベルコクレーン

クローラークレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

連結子会社および持分法適用会社 [209社]

※印は持分法適用会社であります。(平成26年3月31日現在)

鉄鋼事業部門：43 社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸発電株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、*神鋼鋼線工業株式会社、*関西熱化学株式会社、*日本エアロフォーシ[※]株式会社、株式会社テザックワイヤロープ、*プロテック コーティング CO.、*エスアールティー オーストラリア Pty Ltd 他

溶接事業部門：22 社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、コウベ ウェルディング オブ コリア CO.,LTD. 他

アルミ・銅事業部門：25 社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼汽車鋁材(天津)有限公司、神鋼汽車鋁部品(蘇州)有限公司、コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ LLC、コウベ プレジジョン テクノロジー SDN.BHD. 他

機械事業部門：20 社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、*無錫圧縮機股份有限公司 他

エンジニアリング事業部門：17 社

ミドレックス テクノロジーズ, INC. 他

神鋼環境ソリューション：8 社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

コベルコ建機：34 社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、タイ コベルコ コンストラクション マシナリー LTD.、コベルコ インターナショナル シンガポール CO.,PTE.LTD.、コベルコ コンストラクション マシナリー (USA) INC.、コベルコ コンストラクション イクイップメント インディア PVT.LTD. 他

コベルコクレーン：11 社

コベルコクレーン株式会社 他

その他：29 社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコ科研、神鋼投資有限公司、コウベ スチール USA ホールディングス INC.、*神鋼商事株式会社、*京セラメディカル株式会社 他

取締役および監査役、執行役員

※印は、各事業部門長であります。(平成26年6月25日現在)

取締役会長(代表取締役)
佐藤 廣士

取締役社長(代表取締役)
川崎 博也

■本社

専務取締役
梅原 尚人
常務取締役
杉崎 康昭
専務執行役員
沖田 誠治

常務執行役員
森地 高文
執行役員
三宅 俊也
執行役員
河原 一明

執行役員
北川 二郎
執行役員
山本 浩司

■鉄鋼事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※尾上 善則
専務執行役員
宮下 幸正
専務執行役員
藤井 晃二
常務執行役員
宮脇 新也

常務執行役員
後藤 隆
常務執行役員
水口 誠
常務執行役員
柴田 耕一朗
執行役員
対馬 靖

執行役員
松原 弘明
執行役員
岡 欣彦

■溶接事業部門

専務取締役
※粕谷 強

常務執行役員
輿石 房樹

■アルミ・銅事業部門

専務取締役
※金子 明

常務執行役員
加藤 宏

常務執行役員
藤井 拓己

■機械事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※植木 一秀
専務執行役員
大濱 敬織

常務執行役員
山口 貢
常務執行役員
松田 彰雄

■エンジニアリング事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※田中 順
常務執行役員
眞部 晶平

常務執行役員
森崎 計人
執行役員
石川 裕士

■社外取締役

取締役
北畑 隆生

取締役
越智 洋

監査役(常勤)
藤原 寛明
監査役(常勤)
山本 敬藏

監査役(社外監査役)
佐々木 茂夫
監査役(社外監査役)
沖本 隆史

監査役(社外監査役)
坂井 信也

会社の概要

(平成26年3月31日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,509億3,003万3,900円
- 発行済株式総数 36億4,364万2,100株
- 株 主 数 240,431名
- 従 業 員 数 10,586名

事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・
北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)「海外」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 〈鉄鋼〉加古川・神戸・高砂
〈溶接〉藤沢・茨木・西条・福知山
〈アルミ・銅〉真岡・長府・大安
〈機械、エンジニアリング〉高砂・播磨

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月

基準日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

公告方法 電子公告

(当社ホームページをご覧ください。)

<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

①証券会社にお預けの株式について

お預けの証券会社にお問い合わせください。

②証券会社にお預けでない株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

未受領配当金のお受け取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎ 0120-094-777

(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)

土・日、祝日を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。